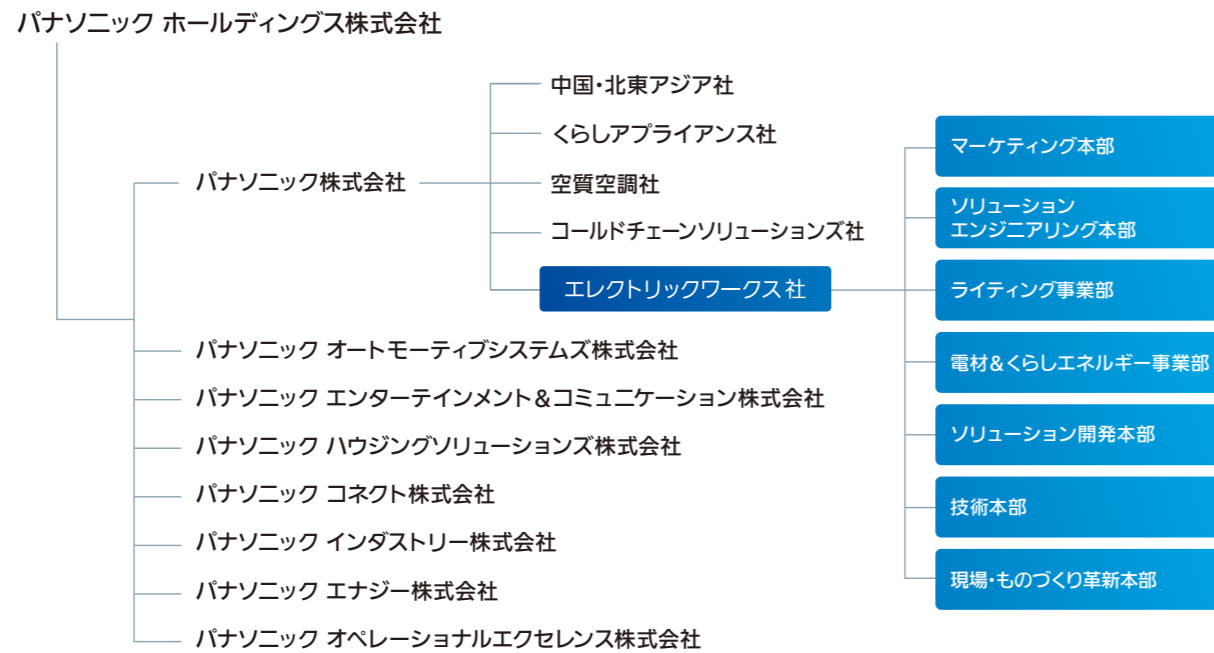


組織図



Electric Works Company

パナソニック株式会社
エレクトリックワークス社



Panasonic Shiodome Museum of Art | ROUAULT GALLERY

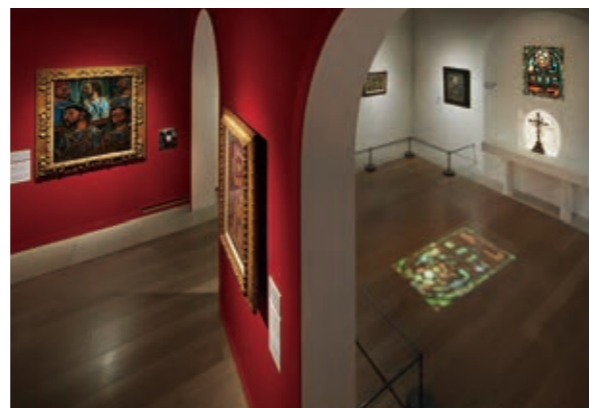
パナソニック 汐留美術館

新しく、深く、
心揺さぶるアートとの出会いを。

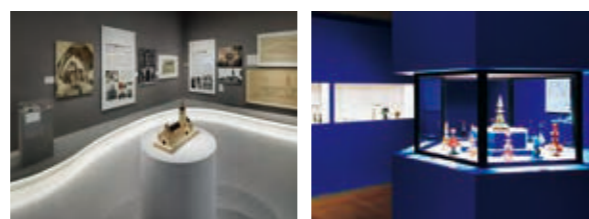
パナソニック汐留美術館は、2003年4月にパナソニックの社会貢献事業の一環として開館し、2023年に20周年を迎えました。

現在では、フランスの画家ジョルジュ・ルオーの作品約260点をコレクションし、調査・研究の成果に基づき、世界で唯一その名を冠した「ルオー・ギャラリー」で公開しています。また開館以来、「ルオーを中心とした美術」「建築・住まい」「工芸・デザイン」をテーマとした企画展を通じて、私たちのこころとくらしを豊かにする活動を続けています。

これからも文化芸術の継承と発展に寄与し、皆様により一層の夢と感動をお届けできるような美術館へと進化し続けることを目指してまいります。



ジョルジュ・ルオー 聖なる芸術とモデルニテ (2018年)



サーリネンとフィンランドの美しい建築 展 (2021年)
香りの器 高砂コレクション 展 (2021年)

いい今日と、 いい未来を 電気設備から。

世界が大きく変わろうとしている今。私たちにできること。
暮らしの基盤、「電気設備」から、新しく変えていこう。

電気設備でかなえる、脱炭素社会。

ランドマーク、スタジアム、空港や駅、商業施設まで。
エネルギーマネジメントで未来へCO₂排出量を削減しながら、
今日の快適な暮らしを、世界中で両立していく。

電気設備でかなえる、次世代の働き方。

センシングやデジタル技術で、一人ひとりに最適な空間を提案、
仕事と健康を両立できる環境を実現していく。

電気設備でかなえる、災害への備え。

地震大国だからこそ培われた高品質な製品や技術で、
毎日の暮らしの中に、万が一の安心を備えておく。

たとえば、足元を安全に照らしながら、星空を美しく引き立てる街路灯。
人に寄り添う技術で、いつの時代も、グローバルで社会課題に 대응していく。
それが、暮らしのインフラを支える、パナソニックのもう一つのDNA。

未来のために今日をあきらめるでもなく、
今日のために未来をあきらめるでもない。
その両方を、私たちは「電気設備」でかなえていく。

ご挨拶

エレクトリックワークス社は電気設備の分野で住宅、
オフィス、ホテル、商業施設、スポーツ施設など社会を
構成するあらゆる“暮らしの空間”で事業を展開しています。

電気設備とデジタル技術を核としたソリューションにより、
安全安心で快適な空間をお届けし、その空間で誰もが健やかに、
生き活きた時間を過ごして欲しい。

社会環境やライフスタイルの変化に併せて空間を
アップデートし続け、お客様に常に最大の満足を届けたい。

このような想いをもって、パートナーの皆様と共に
「人起点」でのお役立ちを果たし続けます。

事業活動を通じて、全てのお客様に
「いい今日と、いい未来を電気設備から。」を
お届けしてまいります。

パナソニック株式会社
エレクトリックワークス社社長

大瀧 清



ライティング 事業部

Lighting Business Division



屋外照明：パナソニックは阪神甲子園球場のオフィシャルエコパートナーとして、LED照明によるCO₂削減に取り組んでいます

Lighting Business

ライティング事業

住宅、オフィス、施設など多様化するお客様のニーズにお応えし照明の力で心の豊かさとエコの両立を実現。省エネ、長寿命、耐久性、デザイン性などあかりの性能をさらに追求し、人に寄り添いながら、より快適で安心できる、豊かな暮らしをお届けします。



一体型LEDベースライト
「iDシリーズ」

LEDフラットランプ



住宅用照明



オフィス・施設用照明



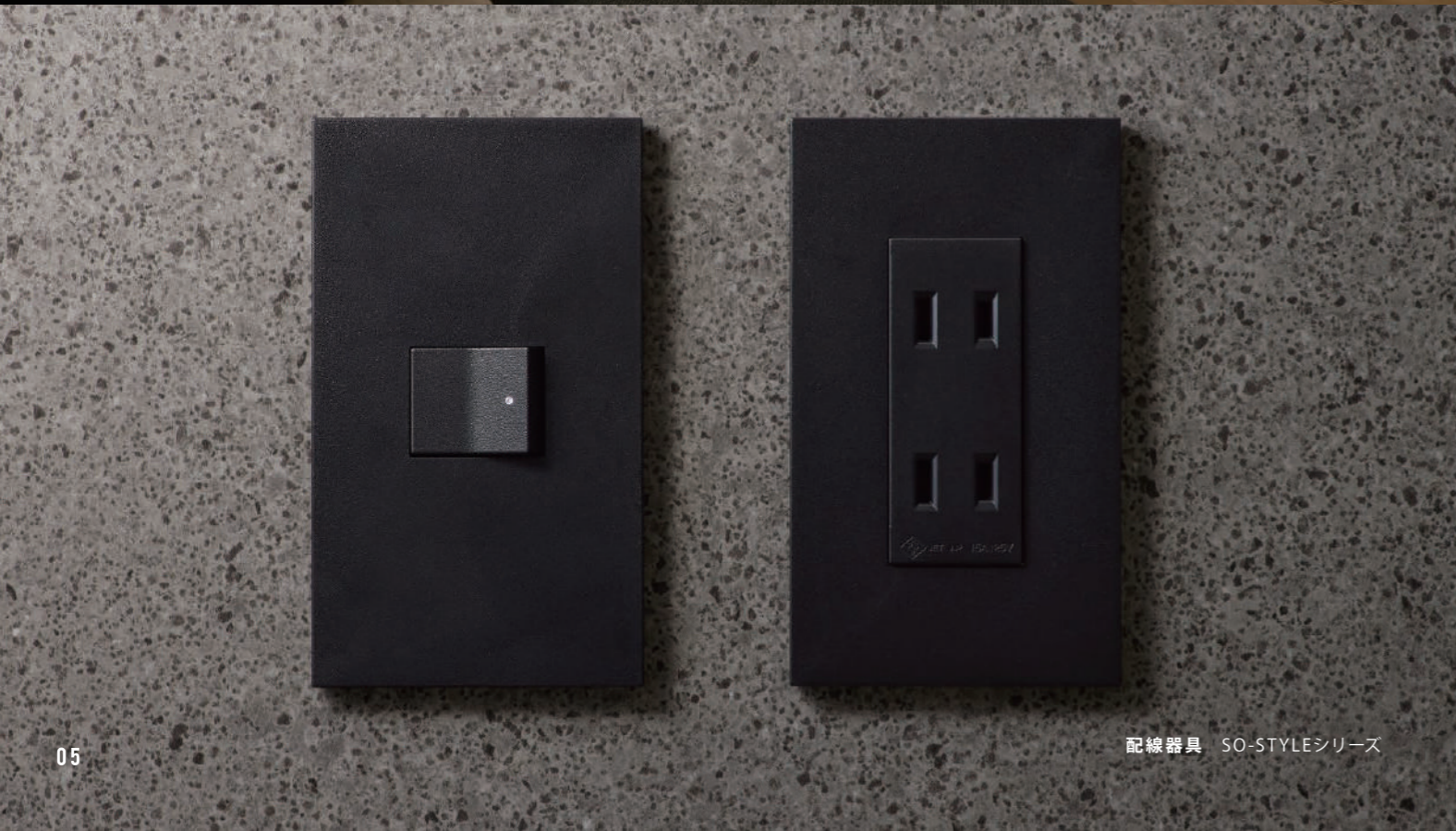
店舗用照明



光・映像・音による空間演出

電材&
くらしエネルギー
事業部

Electrical Construction
Materials & Living Energy
Business Division



配線器具 SO-STYLEシリーズ

Electrical Construction Materials Business

電設資材事業

私たちは創業時から人々の暮らしに寄り添い、安心・安全な暮らしを支えて参りました。これからも、配線器具・分電盤・電線管・マンションインターホン・ホームシステム等多岐にわたる配電・情報インフラを通じて、安心・安全に加え、IoTや機器制御を活用した快適で持続可能な暮らしに貢献します。



配線器具
アドバンスシリーズ
リンクプラス
※画面はイメージです。



Home IoT AISEG2(アイセグツー)



HEMS対応 住宅分電盤 スマートコスモ



マンションインターホン Clouge(クラウジュ)



DC電源用配線ダクト DCライン



電動工具 EXENA(エグゼナ)

電材&
くらしエネルギー
事業部

Electrical Construction
Materials & Living Energy
Business Division

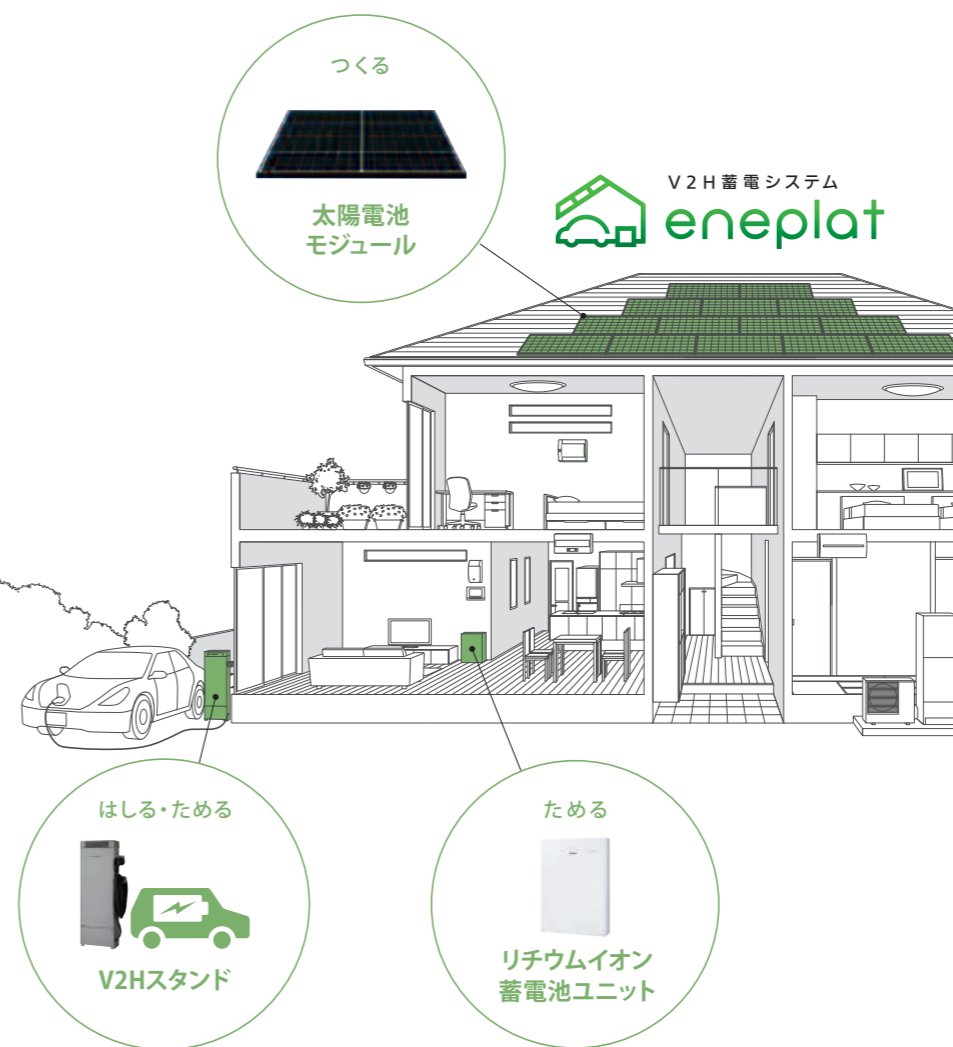


H2 KIBOU FIELD

Sustainable Energy Business

環境エネルギー事業

ガス、水素、電気に関するエネルギー商材のベストミックスと効率的な運用により、「脱炭素社会の実現」と「快適な暮らし」を両立し、持続可能な社会に貢献します。



家庭用燃料電池 エネファーム



純水素型燃料電池



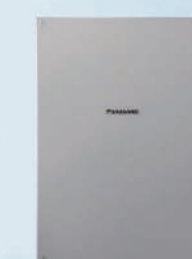
超音波計測ユニット



自動検針用無線機器



超音波式水素流量濃度計



パワーコンディショナ

ソリューション
エンジニアリング
本部

Solution Engineering Division

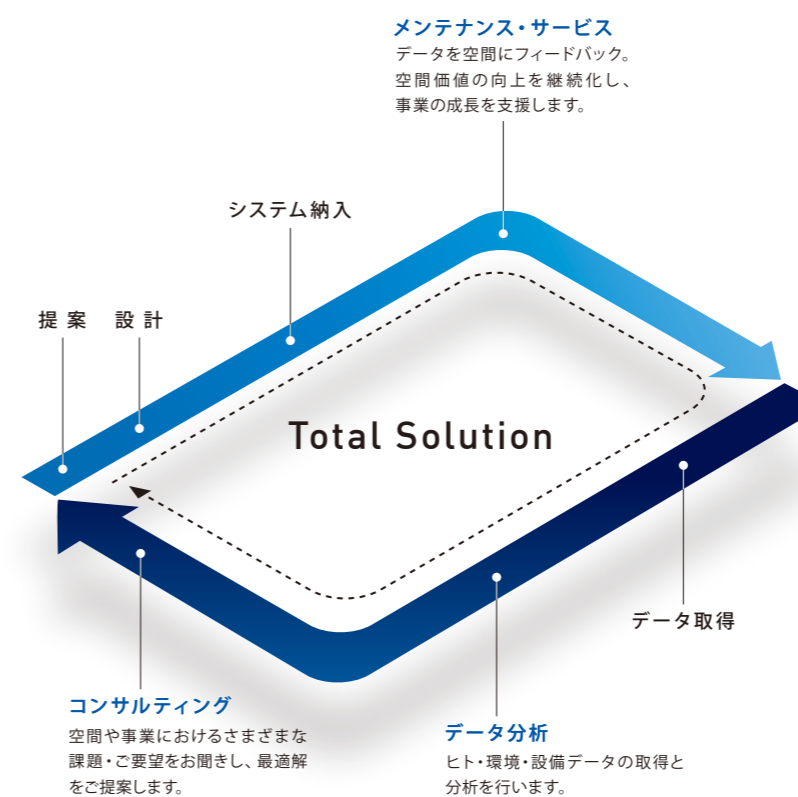


worXLab

Solution Engineering Business

ソリューション エンジニアリング事業

お客様それぞれのニーズに合わせた総合的な課題解決を目指し、ハード・システム、サービス・コンサルティング、そしてエンジニアリングをつなぎ合わせ、Well-being、環境配慮、レジリエンスを実現する長期的なソリューションの創出に注力します。



設備納入だけでなく、コンサルティング、利用データ分析・運用改善を加えたトータルソリューションをお届けします。



エネルギーソリューションへの取り組み ZEB



ウェルビーイングな環境のご提案 worXLab



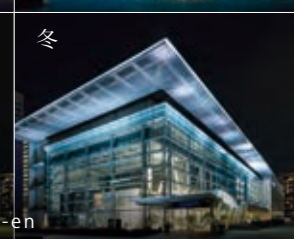
春



夏



秋



冬

街全体をクラウド演出 YOI-en



YOI-en



防災&セキュリティソリューション



ネットワークソリューション

国内の製造拠点と 主な納入事例

国内4工場・76営業所 関係会社36社 ※23年2月現在

工場:4工場(新潟、津、草津、奈良)
営業所:76営業所
国内関係会社:製造 13社、販売・その他 23社

■ 工場 📍 主な納入事例



■ ライティング事業部



■ 電材&くらしエネルギー事業部



世界109の国や地域で販売 関連会社16社

国内単体 0.8万人 総従業員数 ※22年12月現在

国内連結 1.0万人

海外連結 1.1万人

2.9万人



【トルコ】

欧州、CIS、中東、アフリカ等に対し各国ニーズに合わせた電気設備商材を展開。PanasonicとVIKOの2ブランドで事業を拡大。



【インド】

配線器具、ブローカー、照明、天井扇、キッチンなど幅広い商材で事業を展開。PanasonicとANCHORの2ブランドで事業を拡大。

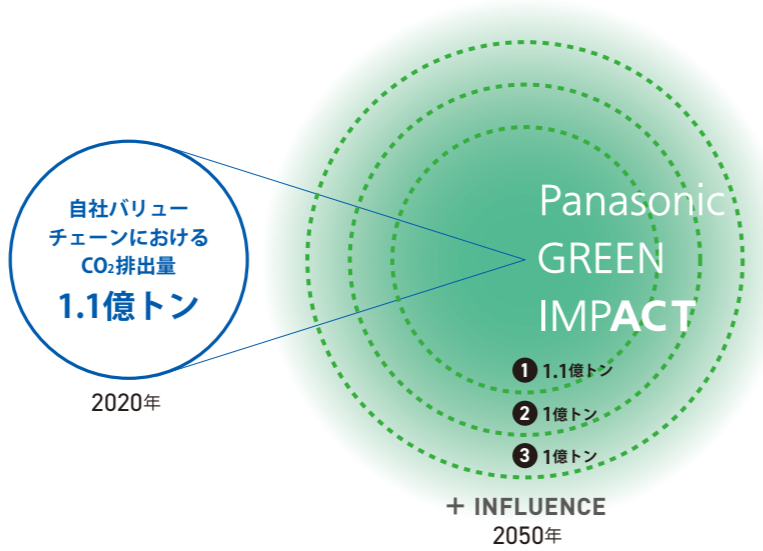


【ベトナム】

総合電材プロバイダーとして、ベトナムの市場ニーズにあわせた電設資材商品を展開。23年より配線器具・ブローカーの新工場稼働予定。

Panasonic GREEN IMPACT

パナソニックグループは、「より良い暮らし」と「持続可能な地球環境」の両立に向け、さまざまな活動のインパクトを拡げることで、社会とともにカーボンニュートラルを目指します。

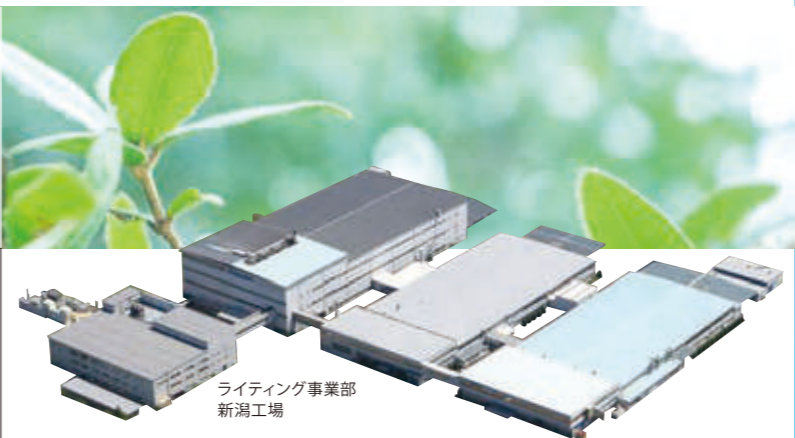


- 1 OWN IMPACT**
自社バリューチェーンにおける排出削減インパクト
- 2 CONTRIBUTION IMPACT**
既存事業による社会への排出削減貢献インパクト
- 3 FUTURE IMPACT**
新事業・新技術による社会への排出削減貢献インパクト



純水素型燃料電池連携制御で事業活動で消費するエネルギーを100%再生可能エネルギーで賄う。

エレクトリックワークス社は、電気設備の省エネやエネルギーマネジメントによりCO₂排出量を削減していきます。さらに3電池連携（太陽電池・蓄電池・燃料電池）技術により、カーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。



2030年までにグローバル全工場でCO₂ゼロ化を目指す。

2050年の環境目標達成に向け、ものづくりの現場では、2030年までにグローバルで全工場のCO₂ゼロ化を進めます。先行的に、ライティング事業部新潟工場（新潟県燕市）にて省エネや再エネ導入などにより2028年度までに実質ゼロ化を目指します。

エレクトリックワークス社の沿革

1918年—ひとつの配線器具（アタッチメントプラグ）から始まったパナソニックの歴史。今日まで100年を超えてつづくエレクトリックワークス社の社史をご紹介します。

タイに電線管製造会社「タイ松下電工スチール株式会社（現、パナソニック電工スチールタイ株式会社）」を設立。
シンガポールに販売会社「アジアパシフィック松下電工株式会社（現、パナソニック電工アジアパシフィック株式会社）」を設立。

インドにおける情報機器事業の拠点となる「アンカーエレクトリカルズ株式会社」を買収。
ガスメーター用デバイスの海外市場展開開始。

フィスマングループと欧州市場向け家庭用燃料電池システムを共同開発。

トルコ共和国の配線器具を生産するメーカー、「VIKO(ヴィコ)」を買収。

「VIKO(ヴィコ)」からパナソニックエコソリューションズトルコに改称。

「アンカーエレクトリカルズ株式会社」からパナソニック・ライフソリューションズ・インドに改称。

| | |
|------|---|
| 1918 | 松下幸之助が「松下電気器具製作所」を設立創業。配線器具の生産・販売を開始。 |
| 1935 | 「松下電器株式会社」として分社。配線器具、合成樹脂、電線管を生産・販売。 |
| 1945 | 「松下電工株式会社」に改称。 |
| 1978 | 松下幸之助創業者と大手ガス会社とのトップ会談により、ガスマイコンメーターの共同開発に着手。 |
| 1987 | タイに電線管製造会社「タイ松下電工スチール株式会社（現、パナソニック電工スチールタイ株式会社）」を設立。 |
| 1990 | シンガポールに販売会社「アジアパシフィック松下電工株式会社（現、パナソニック電工アジアパシフィック株式会社）」を設立。 |
| 2001 | 「燃料電池事業化プロジェクト」が発足。 |
| 2004 | 松下電器産業株式会社（現、パナソニックホールディングス株式会社）が「松下電工株式会社」の親会社となる。 |
| 2007 | インドにおける情報機器事業の拠点となる「アンカーエレクトリカルズ株式会社」を買収。 ガスメーター用デバイスの海外市場展開開始。 |
| 2008 | 「パナソニック電工株式会社」に改称。「Panasonic」ブランドに統一。 |
| 2009 | 草津工場で世界初の家庭用燃料電池「エネファーム」量産化。 |
| 2010 | フィスマングループと欧州市場向け家庭用燃料電池システムを共同開発。 |
| 2011 | パナソニック株式会社（現パナソニックホールディングス株式会社）の完全子会社化。三洋電機株式会社がパナソニック株式会社（現パナソニックホールディングス株式会社）の完全子会社化。 |
| 2012 | 社内カンパニー「エコソリューションズ社」設立。 |
| 2014 | トルコ共和国の配線器具を生産するメーカー、「VIKO(ヴィコ)」を買収。 |
| 2016 | 三洋電機株式会社のソーラー部門がエコソリューションズ社傘下に編入。 |
| 2017 | 「VIKO(ヴィコ)」からパナソニックエコソリューションズトルコに改称。 |
| 2019 | 「アンカーエレクトリカルズ株式会社」からパナソニック・ライフソリューションズ・インドに改称。 |
| 2021 | パナソニック株式会社（現、パナソニックホールディングス株式会社）の社内分社としてエレクトリックワークス社設立。 |
| 2022 | 事業会社制へ移行。「パナソニック株式会社」の商号を承継した事業会社内の分社となる。 |